

③有害物質貯蔵指定施設を設置する場合 [39 ページから 45 ページまで]

放流先	共通
施設種類	
有害物質の使用	

様式第1 (第3条関係) (表面)

~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書~~

●年 ●月 ●日

東京都知事 殿

東京都○○区○○町○○丁目○番○号
 ○○工業株式会社
 届出者 代表取締役 東京太郎
 郵便番号(▲▲▲-▲▲▲▲) 電話番号(▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲)
 (氏名又は名称及び住所ならびに法人にあってはその代表者の氏名)

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、
~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○工業株式会社 ○○工場		
工場又は事業場の所在地	○○市○○町○○丁目○番○号		
第5条第1項関係	特定施設の種類		※整理番号
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※受理年月日
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	年月日
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※施設番号
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	※審査結果
第5条第2項関係	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
	有害物質使用特定施設の種類		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
第5条第3項関係	△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	※備考
	△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設 又は 有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、 若しくは処理される有害物質に係る 用水及び排水の系統又は施設におい て貯蔵される有害物質に係る搬入及 び搬出の系統	別紙15のとおり。	

該当する部分以外は二重線で消す。

【届出者が法人の場合】
 名称・本社住所及び代表者職氏名を記入する。
 【届出者が個人の場合】
 事業主の住所・氏名を記入する。

有害物質貯蔵指定施設を設置しようとする工場・事業場名及び住所を記入する。

有害物質貯蔵指定施設にチェックする。

様式第1 (裏面)

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあつては、名称)を記載してください。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入してください。
なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出は要しません。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入してください。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用してください。
 - 5 ※印の欄には、記載しないでください。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けてください。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させてください。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4としてください。

主要製品の名称を記入する。
年間当たりの工業出荷額(予定額等)を記入する。

届出に係る事業場の従業員のみ
(本社、他の工場等を含めない。)

参考

主要製品の名称・ 生産額及び出荷額	資本金	〇〇〇万円	敷地面積	10,000m ²
合成樹脂等 〇億円/年	従業員数	20人	作業場面積	8,000m ²
	業種	化学工業	現在の地での 操業年月日	×年×月×日
	用途地域	工業地域	操業時間	9時～17時 (8時間)
	公害防止担当部 課及び担当者	製造部 環境課 ▲▲グループ 〇〇〇〇 電話(〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇) Eメール(〇〇▲▲@tokyo.todokede.co.jp)		

この部分は必ず
記入する。

本社ではなく、事業場の担当
者を記入する。

別紙12

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	A-1,A-2	B-1
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 使用 <input checked="" type="checkbox"/> 貯蔵	<input type="checkbox"/> 使用 <input checked="" type="checkbox"/> 貯蔵
型式	貯蔵タンク (〇〇社製 △△)	貯蔵タンク (〇〇社製 △△)
構造	ステンレス製 (添付第3図参照)	ポリエチレン製 (添付第3図参照)
主要寸法	直径1500×6000(H)mm×2槽	1000×1000×1500(H)mm
能力	貯蔵量 各10m ³	貯蔵量 1.5m ³
配置	化学棟の屋外(地上)に設置 (添付第2図参照)	めっき棟の屋内(地上)に設置 (添付第2図参照)
床面及び周囲	床面 コンクリート製100mm厚 エポキシ樹脂で被覆 周囲 防液堤を設け流出を防止 (貯留量 12m ³)	床面 コンクリート製100mm厚 周囲 側溝を設け流出を防止 (側溝 幅500mm×深300mm ×15m 閉鎖型)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	△年 △月 △日	△年 △月 △日
使用開始予定年月日	×年 ×月 ×日	×年 ×月 ×日
その他参考となるべき事項		

備考1 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置について図面を利用して記載してください。(添付第()図のとおり)

複数の施設が存在する場合は添付図面に対応した事業場内における番号と名称を記入する。

貯蔵にチェックを入れる。

貯蔵施設の型式を記入する。(例 タンク、貯槽、地下ピット等)

施設の構造材料・材質等を記入する。カタログ・資料等がある場合は添付する。地下ピットの場合は厚みも記入する。

施設の大きさを記入する。(構造図等添付)

最大貯蔵量を記入する。

事業場内の建物の名称・位置等を明記した別図(添付第2図)に、貯蔵施設の配置が分かるように記入する。屋外、屋内、地上、地下の区別も記入する。

床面は材質(コンクリート等)、被覆の有無等について記入する。周囲は受け皿、防液堤、側溝等について記入する。

各予定日を記入する。

防液堤や受け皿の容量に対し、貯蔵施設の容量が大きい場合の対応等を記載する。
(防液堤や受け皿においては、原則として、貯留量が最大貯蔵量より大きい必要がある。)
(例 常時貯蔵は最大容量60%までとし、防液堤の容量を超えない範囲で使用する等)

別紙 13

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	A-1,A-2	B-1
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 使用 <input checked="" type="checkbox"/> 貯蔵	<input type="checkbox"/> 使用 <input checked="" type="checkbox"/> 貯蔵
設備	地上配管、バルブ、フランジ	バルブ、排水管
構造	ステンレス製	排水管：屋内 塩ビ地上配管
主要寸法	地上配管 直径200mm×50m バルブ 2箇所 フランジ 3箇所	排水管：直径50mm
配置	化学棟屋外から化学棟1階 (添付第2図参照)	めっさ棟内 (添付第2図参照)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	△年 △月 △日	△年 △月 △日
使用開始予定年月日	×年 ×月 ×日	×年 ×月 ×日
その他参考となるべき事項	有害物質を含む水が流れる。	有害物質を含む水が流れる。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置について図面を利用して記載してください。(添付第()図のとおり)

参考

点検内容・頻度等	<ul style="list-style-type: none"> ●施設及び床面等 <ul style="list-style-type: none"> ・溶液の水位記録(毎日) ・タンクのひび割れや損傷等の有無、タンク本体からの漏洩(年1回以上) ・床面のひび割れや被覆の損傷等、防液堤のひび割れ等の有無(年1回以上) ●付帯する設備 <ul style="list-style-type: none"> ・配管の亀裂損傷の有無、配管からの漏洩の有無(年1回以上) ●使用の方法に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・管理要領の確認(年1回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設及び床面等 <ul style="list-style-type: none"> ・溶液の水位記録(毎日) ・タンクのひび割れや損傷等の有無、タンク本体からの漏洩(年1回以上) ・床面のひび割れや被覆の損傷等、防液堤のひび割れ等の有無(年1回以上) ●付帯する設備 <ul style="list-style-type: none"> ・排水管の亀裂損傷の有無、排水管からの漏洩の有無(年1回以上) ●使用の方法に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ・管理要領の確認(年1回以上)
----------	--	--

別紙 12 と同じ内容を記入する。

施設に付帯する配管や排水溝等を記入する。地下にあるものはその旨を記入する。付帯する設備がない場合は「無」と記入する。

設備の材質や設置状況等を記入する(例 ポリプロピレン製架空配管等)。また、検知設備があれば記入する。

設備のうち主なものについて寸法を記入する。

建物の名称・位置等を記入する。設備の地上、地下の別は別図に記入してもよい。

各予定日を記入する。

必要に応じて、有害物質を含む水の流れの有無を記入する。

点検内容・頻度は 77～83 ページを参考に記入する。詳細は、環境省マニュアル『地下水汚染の未然防止のための構造と点検・管理に関するマニュアル』に記載されている。

<https://www.env.go.jp/water/chikasui/brief2012.html>

別紙14

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	A-1,A-2	B-1
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 使用 <input checked="" type="checkbox"/> 貯蔵	<input type="checkbox"/> 使用 <input checked="" type="checkbox"/> 貯蔵
設置場所	化学棟屋外から化学棟1階 (添付第2図参照)	めっき棟屋内に設置 (添付第2図参照)
操業の系統	フェノール合成施設に ベンゼンを供給	廃液の貯蔵
使用時間間隔	1週間に1回搬入	1回/月程度めっき槽より貯蔵タンクに移送
1日当たりの使用時間	1時間/回	15分/回
使用の季節的変動	なし	なし
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	_____	_____
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	ベンゼン(〇%~〇%)	シアンを含む廃液(含有率〇%~〇%)
その他参考となるべき事項	製品製造に使用	廃液は年3回の頻度で産廃処理

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載してください。

別紙12と同じ内容を記入する。

別図(添付第2図)に設置している場所を記入する。
(45ページ参照)

操業の系統の中で、貯蔵施設の使用目的を記入する。

当該施設への有害物質を含む水の供給時における使用時間間隔を記入する。
連続使用の場合は〇時~〇時、間欠使用の場合は頻度等

1日当たりの使用時間又は1回当たりの使用時間を記入する。

季節変動がある場合には具体的に
4月~5月 多い
12月~1月 少ない
などのように記入する。

貯蔵する有害物質の種類を記入する。
含有率がわかる場合は記入する。

必要に応じて、貯蔵する有害物質を含む水の取り扱いについて記入する。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

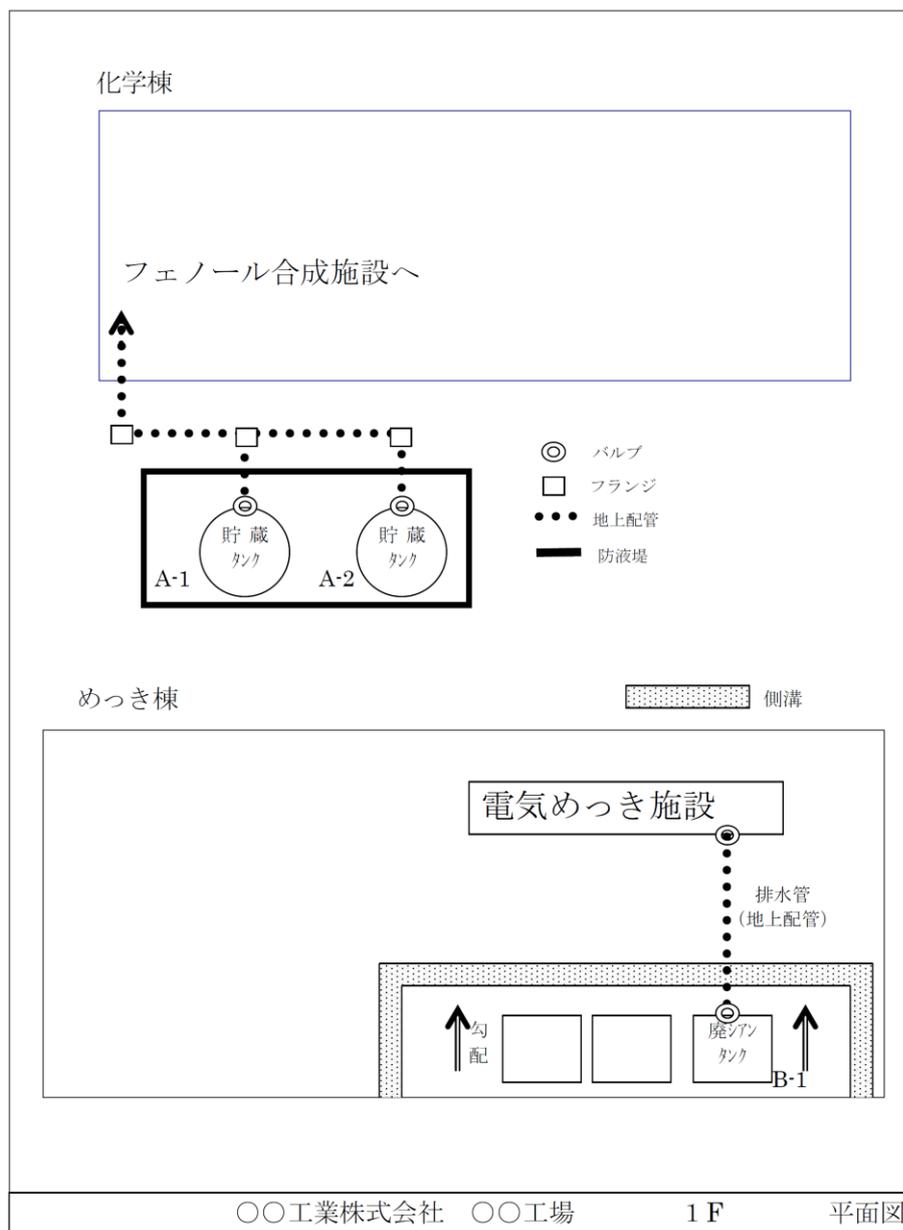
<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>	<p>A-1.A-2 搬入：タンクローリーから1週間に1回、貯蔵施設に供給 搬出：配管をとり、フェノール合成施設に供給</p> <p>B-1 搬入：めっき液交換時に、電気めっき施設から廃シアンタンクまで、排水管を通じて移送され、シアンを含む廃液が貯留 搬出：産業廃棄物処理業者が用意したタンクローリーに、ホースを用いて搬出</p> <p>添付図面一覧 添付第1図 事業場全体配置（記入例では省略） 添付第2図 1階配置図 添付第3図 貯蔵施設の構造図（記入例では省略）</p>
---	--

添付図面の一覧を示す。
貯蔵施設まで搬入される経路、貯蔵施設から搬出される経路を記入する。
必要に応じて、別図やフローシートを添付する。

用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
合計			

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないでください。

添付第2図（別紙12、13、14、15関係）



この図面は、別紙12、別紙13、別紙14、別紙15の添付資料の例です。
 既存の図面を活用し、不足する箇所を追記して作成した図面でも構いません。